

新年のご挨拶

謹んで新年の
挨拶を

申し上げます



金澤山 円能院 福泉寺



<15号>

真言宗 智山派
円能院
川崎小田



昨年はギリシャ・ショック、アイルランド危機が世界経済に大きな影響を及ぼしました。さらに、中国・北朝鮮をめぐる様々な問題が噴出しました。レアアースなどの資源の問題は、国際的な産業構造の変化に依りて、先進国と開発途上国の国力の差がなくなり、これからは多くの領域で国際競争力が厳しく試されることを感じている人が多くいらっしゃると思います。国内の日々の生活に目を向けても、老人年金の不正受給や給食費の不払いなど、人々のモラルが大きく変化していることを感じていると思います。

これらの変化は急激に見えるかもしれませんが、実は日本は国際的にみると様々な面で大きな変化を成し遂げて来りました。

例えば、江戸時代の平均寿命は30歳程度であったと推計されています。寿命を下げる理由は乳幼児の死亡率が高かったとういうことであり、6歳を超えれば60歳・70歳という長生きの可能性があったとも考えられています。

日本人の平均余命が50歳を超えたのは何と約60年前の1947年であるというのは驚きではないでしょうか？

昭和二桁から20年頃に生まれた人々の話によると、結婚式で新郎新婦の4人の親が揃っていた結婚式は少なかったがということを知ることがあります。

結婚適齢期になる子の当時の親は、病気や既に死亡している場合が今よりも多かったという印象を持つ人が多いのではないのでしょうか？

長寿は人口の増加のみでなく、人の暮らし方にも大きな変化を与えました。江戸時代の結婚期間は35年間だったそうです。つまり結婚期間の間は子育てをしなければならなかったのです。子どもが35歳になった時には多くの親は存在できなかつたのです。ところが現代の結婚期間は49年間と延びていますが、子の扶養期間は24年間であり、結婚期間のほぼ半分となります。

つまり、子どもが結婚してもしなくても、多くの親は子供が成人した後もほぼ同じ時間を生きることができなくなります。この長い年数を目標を持ち、有効に使える人は実り多きご老人となりますが、そうでない人は目標を失って喪失感を感じるかもしれません。

(参照…鬼頭宏「人口から読む日本の歴史」講談社学術文庫)

平均寿命が80歳になる社会を我々人類は未経験です。これからは社会や家庭の中で、中高年の役割や充実感を創造することが社会的にも個人的にも重要な課題となつていふと思われまふ。

長寿社会の闇の部分をおそれることなく、課題は何であるのかを冷静に見つめて自分の目標や課題を見出すことが可能であれば、充実した豊かな後半生を過ごすことができると思えます。そのような目標や課題を発見できる年にしましょうではありませんか。

平成二十三年元旦

円能院住職 佐藤隆賢

平成23年度写経会・講話会

第三土曜日午後1時〜写経2時〜講話

- 1月15日
- 2月19日
- 3月19日
- 4月16日
- 5月28日(第三は日枝神社のお祭り
なのでこの回は4週目)
- 6月18日
- 7・8月はお盆のためにお休み
- 9月17日
- 10月15日
- 11月19日
- 12月17日

参加費：無料

写経用紙 千円(希望者のみ)

硯筆などは寺で用意いたしますので、どうぞ気軽に
ご参加ください。
初心者の方でも御遠慮なくお越し下さい。
なお、当院の都合により日時を変更する場合もござ
います。
変更の場合は、寺の山門脇の掲示板に掲示いたしま
すので、ご了承ください。

法事のご報告

昨年、10月30日に、円能院本堂におきまして、
先代住職である当山第二十世 佐藤隆恩和尚と上二十七回忌法要並びに 隆恩和尚上慈光院
瑩雪妙恩大姉五十回忌法要を金蔵院住職 佐伯隆弘僧正を大導師に仰ぎ執り行わせて
いただきました。
関東大震災による、山門以外すべてが崩壊してしまった円能院の復興に尽力された後、
さらに太平洋戦争による、再びの山門以外の焼失、再度の復興を成し遂げられました。
今ある円能院の礎を築いて下さったことへの感謝の念を改めて感じております。

恒例の年中行事

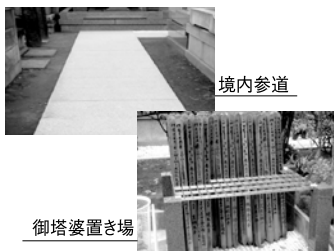
- 春彼岸…………… 3月18日〜24日(中日 21日)
 - 花まつり…………… 4月8日(金)
 - 甘茶のご接待をいたします
 - 地蔵まつり……………(延命地藏水子地藏賢海法師・
弘法大師等への幡・塔婆供養)
4月29日(金・祝日) 午前11時 法要
本年より5月4日から変更
 - 施餓鬼会……………(先祖供養・新盆供養・
無縁精霊の塔婆供養)
7月10日(日) 午後2時 法話 法要
お盆供養会…………… 7月13日(水)〜16日(土)
本堂での供養は、午前11時〜午後3時
川崎区内の新盆の方には、お伺いして
ご供養いたします。
 - 秋彼岸…………… 9月20日〜26日(中日 23日)
 - 不動尊供養会……………(護摩祈禱)
11月28日(月) 午前11時
不動堂にて護摩供養
- いずれも事前に、塔婆、幡、お札などの申し込みを受
け付けております。
なお、当日の法話講話演奏会余興・食事会などに
きましては、その都度お知らせいたします。

境内地内の参道が、一部整備されました。

これまでは車椅子の方などが歩行しづらい部
分もあり、募参ができないなどの声をいただ
いておりました。皆様が安全にお募参りがで
きるようにと願っております。

他に、地蔵祭りで御塔婆をお立てする塔婆立
ても、堅牢なものに作り替えました。
さらに、今まで、古い御塔婆は、ゴミ箱や焼却
炉周辺に立てかけていたため、近隣の住民の
高橋忠夫様によるご寄付により、本堂東側に
ステンレス製の御塔婆置き場が完成いたしま
した。

今まで公園側に設置してありました焼却炉
は、昨今のダイオキシン問題や、近隣の住民の
方への煙の被害な
どを考慮して、撤
去いたしました。
これらの御塔婆
は、今後はリサイ
クル処理のできる
工場へと搬入さ
れることになつて
おります。



境内参道

御塔婆置き場

宗教法人・円能院住職の 交替について

平成二十三年四月二十九日
真言宗智山派 金澤山圓能院福泉寺の住
職を左記のように交替することになりま
したので、宜しくご了承願います。
第二十二世住職 佐藤隆賢は長老に就任
第二十三世住職に 隆僧正が就任
右の件につきまして御披露申し上げます。

編集後記

ご報告のとおり、10月30日に先
代隆恩和尚の二十七回忌を勤修
いたしました。

隆恩和尚は84歳で遷化したしま
したが、私の年齢が丁度同年にな
りました。

私は昭和30年に円能院に入り、50
年以上の月日が経ちました。

境内の整備も立派に成し遂げる
ことができたことは、ひとえ
に檀信徒のご協力のたまもの
です。

そろそろ住職を副住職に譲ろう
かと考え、晋山式(新任職の就任
式)を4月29日(金)に挙行すべく
現在調整中です。

後日改めてご連絡いたしますが、
多くの方のご臨席を賜りたく、こ
こにお願い申し上げます。

円能院 第二十二世 佐藤隆賢

円能院の ホームページ

円能院のホームページができました。<http://www.ennouin.jp> です。
催事情報やコラムなどご覧いただけますので、ぜひ一度お寄り下さい。また、ご質問・ご意見などもお受けしております。

発行所
金澤山 円能院 福泉寺
川崎市川崎区小田
1丁目25番12号
電話:044(333)4476
FAX:044(366)6972
発行人
佐藤 隆 賢